

アユ情報

第1号

平成26年3月28日
栃木県水産試験場

1. アユ遡上情報

アユの遡上状況についてお知らせします。

那珂川の状況 (3/27 現在)

- ・これまでのところ栃木県内の那珂川では、アユの遡上は確認されていません。
- ・茨城水試の調査(3/25)でもアユの遡上は確認されていませんが、那珂湊では稚アユが釣れはじまったようです。



3/27 那珂川(茂木地区)



川底のようす

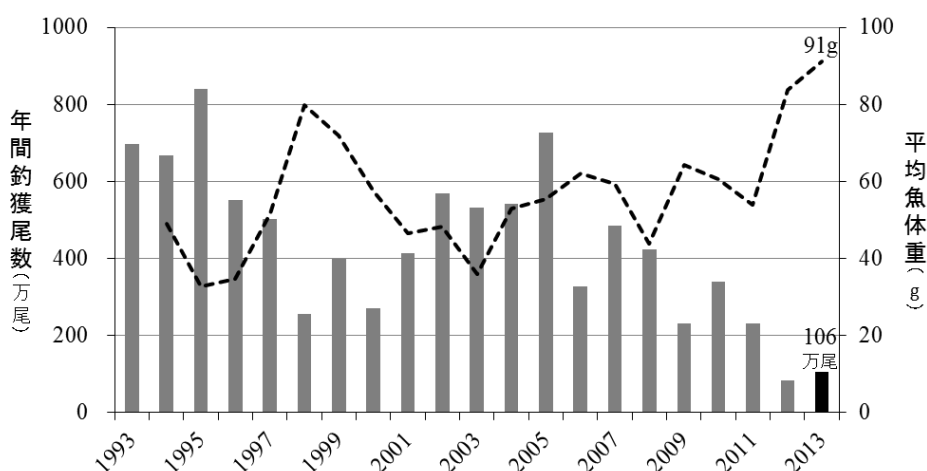
今年は青ノロもなく、河川状態は良好です。

県内河川、及び近県の状況 (3/28 現在)

- ・県内の鬼怒川・思川・渡良瀬川ではアユの遡上は確認されていません。
- ・久慈川では3/25に堅磐堰(河口から約8km)で遡上を確認されています。
(H26年久慈川・那珂川アユ遡上速報第1号)
- ・多摩川ではガス橋付近(河口から約11km)で3/18に遡上を確認されています。
(東京都島しょ農林総合研究センター 平成26年アユ遡上調査)

2. H25 年度的那珂川のアユ釣獲状況

H25 年度的那珂川でのアユの釣れ具合についてお知らせします。



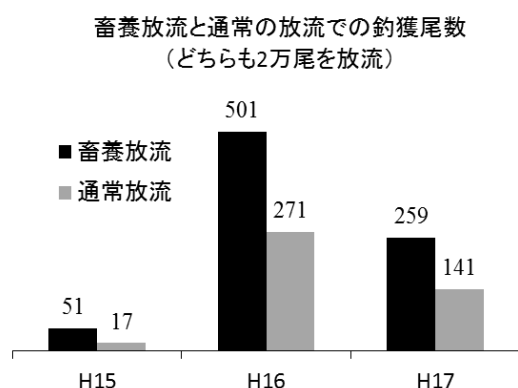
那珂川のアユ釣獲尾数と平均体重の推移

- ・釣獲されたアユは 106 万尾で、H24 年度（84 万尾）の約 1.3 倍となりました。
- ・平均体重は 91g（全長にすると約 218mm）で、過去最大となりました。

豆知識～アユの放流について～

そろそろアユの放流の時期がやってきます！！

アユは水温が 7℃以下では成長しないことが知られています。1 日の中でも水温は変化するので、最低水温が 10℃を下回らないようになったところから放流がはじまります。また、魚にとっての 1℃の変化は人間にとっての 10℃の変化に相当するとも言われています。つまり、放流場所の水に十分に馴染ませてから放流することが重要です。馴染まし方にはいくつかの方法（氷で水温を下げる、輸送トラックに河川の水を汲んでおく、畜養放流*など）がありますが、例えば渡良瀬川で行った試験では、畜養放流のほうが 1.8～3.0 倍多くのアユが釣獲されました（下図）。



今年は那珂川の黒羽地区でも畜養放流が行われます。



*畜養放流：かごや水路で、1～2 日ほど河川水に馴染ませたあとに放流する放流方法。

連絡先 栃木県水産試験場

電話 0287-98-2888 FAX 0287-98-2885

ホームページアドレス <http://www.pref.tochigi.lg.jp/g65/index.html>